

平成20年10月30日公表

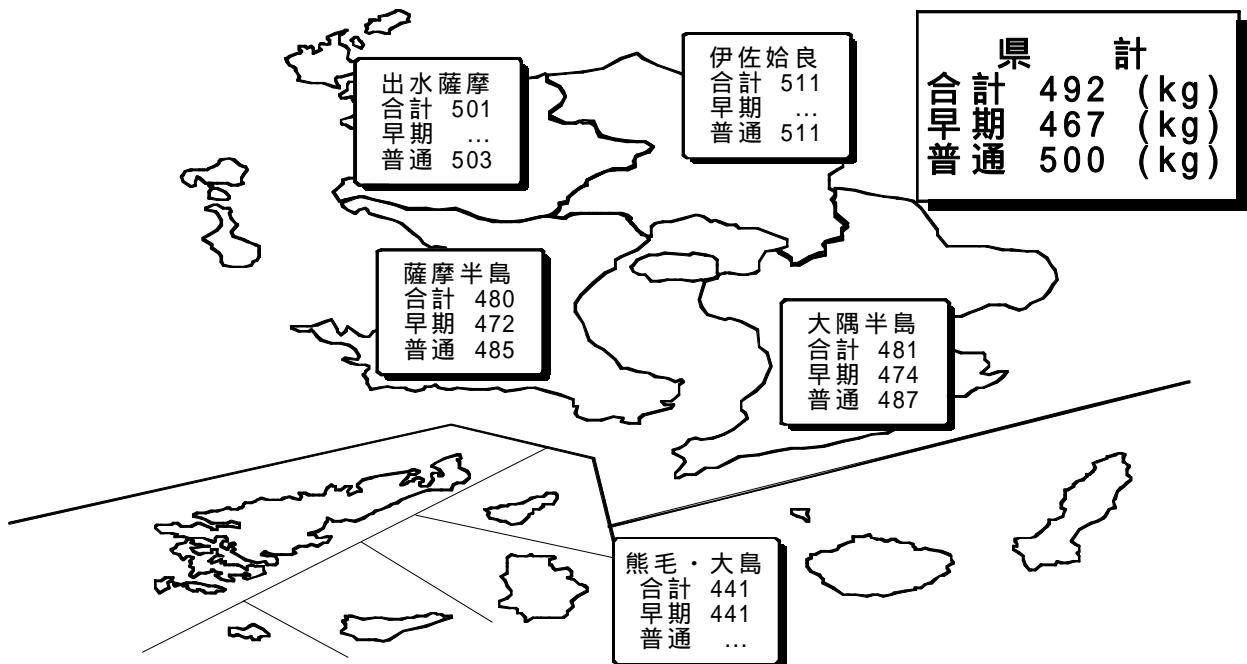
平成20年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

作付面積（子実用）は前年産に比べて2%減少、
普通栽培の10a当たり予想収量は500kg（作況指数102）の見込み

【調査結果の概要】

- 1 鹿児島県における平成20年産水稻の作付面積（子実用）は2万4,900haで、前年産に比べて400ha（2%）の減少が見込まれます。
- 2 10月15日現在における水稻の作柄は、早期栽培は、梅雨明け以降天候に恵まれ、生育・登熟が良好となったことから、10a当たり収量は467kg（作況指数106）となり、普通栽培は、登熟が秋雨前線や台風の影響によりやや緩慢であったものの、穂数がやや多かったことなどから、10a当たり予想収量は500kg（作況指数102）が見込まれます。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は12万2,500tが見込まれます。

図 水稻の作柄表示地帯別10a当たり予想収量（10月15日現在）



作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積です。

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。

調査は、収穫を終えた地域では刈取り実績により行いましたが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行っています。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

この資料は、九州農政局ホームページ鹿児島農政事務所サイトの「統計情報（鹿児島県）」でもご覧いただけます。
【「鹿児島農政事務所」（<http://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/>）】

【 解 説 】

1 作付面積

平成20年産水稻の作付面積（子実用）は2万4,900ha で、前年産に比べて400ha（2%）減少しました。

これは、生産者の高齢化や後継者不足によるものです。

なお、主食用作付見込面積は、2万4,900haが見込まれます。

2 水稻の作柄概況

(1) 早期栽培

全もみ数は、1穂当たりもみ数は平年並みに確保されたものの、穂数がやや少なかったことから、総じてやや少なくなりました。

登熟（実入り）は、全もみ数がやや少なかったことによる補償作用に加え、出穂期以降天候に恵まれ台風の影響もなく、また、病害の発生も軽微であったことから、良となりました。

被害は、一部地域で局地的な強風雨による倒伏や、カメムシの吸汁加害がみられましたが、台風の襲来もなく、いもち病、紋枯病等の発生が少なかったことから、平年に比べ少なくなりました。

このようなことから、10a 当たり収量は467kg（作況指数106）となりました。

(2) 普通栽培

出穂期までの初期生育は、天候に恵まれたことから順調で、1㎡当たり全もみ数はやや多く確保されました。

登熟は、出穂期以降9月上旬までは概ね天候に恵まれたものの、中旬以降が曇雨天で経過したことから、総じて平年並みが見込まれます。

被害は、9月上旬までは台風の影響もなく病虫害の発生も軽微となっていました。中旬以降、台風第13号及び第15号の影響や、秋雨前線の停滞に伴う長雨等から、倒伏や紋枯病の発生がみられ、総じて平年並みとなっています。

このようなことから、10a 当たり予想収量は500kg（作況指数102）が見込まれます。

第1表 水稻の作付面積及び10a 当たり予想収穫量

区 分	作付面積 (子実用)			10a 当たり 予想収量	予想収穫量 (子実用)				(参 考)			
	前年産との比較				= ×	前年産との比較		主食用作付 見込面積	予想収穫量 (主食用) = ×	10a 当たり 平年収量	作 況 指 数 = /	
	対差	対比	対差			対比						
	ha	ha	%	kg	t	t	%	ha	t	kg		
水稻合計	24 900	400	98	492	122 500	6 900	106	24 900	122 500	479	103	
早期栽培	5 950	340	95	467	27 800	9 100	149	439	106	
普通栽培	19 000	0	100	500	95 000	1 700	98	492	102	

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積です。

2 主食用作付見込面積とは、作付面積(青刈り面積を含む)から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）です。

3 数値は、ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合があります。

4 表中の「-」は、減少したものを示します。

5 表中の「...」は、事実不詳を示します。

第2表 早期栽培における地帯別作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

区 分	作付面積 (子実用)			10a 当たり 収 量	予想収穫量 (子実用)			(参 考)	
	前年産との比較				= ×	前年産との比較		10a 当たり 平年収量	作況指数 = /
	対差	対比	対差			対比			
	ha	ha	%	kg	t	t	%	kg	
県 計	5 950	340	95	467	27 800	9 100	149	439	106
薩摩半島	1 640	80	95	472	7 740	2 250	141	440	107
大隅半島	2 920	230	93	474	13 800	6 150	180	449	106
熊毛・大島	1 150	20	98	441	5 070	460	110	412	107

注：1 数値は、ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合があります。
2 表中の「-」は、減少したものを示します。

第3表 普通栽培における地帯別作柄概況（10月15日現在）

区 分	刈 取 り 期			穂 数 の 多 少	1穂当り もみ数の 多 少	全もみ数の 多 少	登 熟 の 良 否	10a 当たり 予想収量	(参 考)	
	最盛期	最盛期の遅速							10a 当たり 平年収量	作況指数 = /
		平年 比較	前年 比較							
	月 日	日	日	(平 年 比 較)				kg	kg	
県平均 うち、	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	500	492	102
薩摩半島	10. 13	3	5	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	485	473	103
出水薩摩	やや多い	平年並み	多 少	平年並み	503	491	102
伊佐始良	多 少	やや少ない	やや多い	やや不良	511	512	100
大隅半島	10. 7	0	1	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	487	471	103

注：1 刈取り期の最盛期とは、刈取り済み面積割合が50%に達した期日です。
2 表中の「...」は、10月15日現在において、その期日に達していないことを示します。

【参 考】 平成20年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況
(概数値)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm 以上で選別された玄米の重量としています。

単位 { 重量割合：%
平均対差：ポイント

区 分	合 計	ふるい目幅					
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
水稲合計重量割合	100.0	68.4	21.8	4.3	2.6	1.7	1.2
平均対差		10.7	6.9	1.7	1.3	0.5	0.3
早期水稲重量割合	100.0	73.0	20.2	3.3	1.7	1.0	0.8
平均対差		23.6	14.0	4.3	3.1	1.4	0.8
普通水稲重量割合	100.0	66.8	22.4	4.6	2.9	2.0	1.3
平均対差		6.1	4.4	0.8	0.6	0.1	0.2

注：1 平均対差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値です。
2 台風等により未熟粒・被害粒等の混入が多く、農産物検査規格規程三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。
3 表中の「-」は、平均より少ないことを示します。

【調査の仕様】

- 1 本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査の中の予想収穫量調査として実施し、水稻の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。
- 2 作柄概況の地帯別は、主要作付地帯(1,000ha以上)を掲載しています。
- 3 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり(予想)収量の比率です。
- 4 第3表において、「穂数の多少」「1穂当たりもみ数の多少」「全もみ数の多少」「登熟の良否」で用いた表示区分は、各指標の平年値に対する比率を次のとおりの区分で表したものです。

多 少 (良否)	少 ない (不良)	やや 少ない (やや不良)	平 年 並 み	やや 多い (やや良)	多 い (良)
対 平 年 比	94 % 以下	95 ~ 98 %	99 ~ 101 %	102 ~ 105 %	106 % 以上

- 5 本速報で用いた地帯区分は、次のとおりです。
 薩摩半島 - 鹿児島市、枕崎市、いちき串木野市、指宿市、南さつま市
 日置市、南九州市、鹿児島郡
 出水薩摩 - 薩摩川内市、阿久根市、出水市、薩摩郡、出水郡
 伊佐始良 - 大口市、霧島市、伊佐郡、始良郡
 大隅半島 - 鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、曾於郡、肝属郡
 熊毛・大島 - 西之表市、奄美市、熊毛郡、大島郡

- 6 統計数値のラウンド方法は、次のとおりです

原 数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1,000)	3けた (100)
ラウンドするけた(下から)	3けた	2けた		1けた	ラウンドしない
例					
ラウンドする前(原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
ラウンドした数値(統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 7 利用上の注意

本調査(10月15日現在)は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行っていますが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行っています。

したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

【関連リンク】

- 農林水産政策関連ページ <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>
- 食料政策関係ページ <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>
- 農業生産振興関係ページ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
 生産流通消費統計課 生産統計係
 電話：(直通) 099(222)7546
 F A X：099(224)1501

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
 統計企画課 企画・分析係
 電話：(直通) 099(222)7523
 F A X：099(224)1501

